

2025年度 授業コード：22100104

授業科目	*ヒューマンサービス基礎演習（通山）				実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期 前期
担当教員	通山 久仁子					
授業概要	<p>福祉、教育、保育等の、人の心に寄り添うことを重視して支援を行う専門職は、対人援助職、すなわちヒューマンサービスの専門家と呼ばれる。</p> <p>この演習では、ヒューマンサービスの専門家として基礎的に必要とされるスキルについて、教員別のグループに分かれ、参加型・体験型の演習プログラム（グループワーク）を中心とした授業を行う。学期の終わりには、演習を通じて学んだことや自分の変化について発表する。</p> <p>全受講生を4つのグループに分ける。教員4名は各教室に分かれ、第2回～第15回まで継続して学生の1グループを担当する。テーマ、行動目標は共通である。</p> <p>第1回の授業は全体で行う。</p> <p>テーマ1 自分を表現し、人との関係をつくる（#2～4）</p> <p>テーマ2 グループでの話し合いや共同作業を体験する（#5～7）</p> <p>テーマ3 コミュニケーションスキルについて考える（#8～11）</p> <p>テーマ4 協力のためのスキルについて考え、グループ活動に生かす（#12～14）</p>					
授業形態	対面授業			授業方法	グループワーク	

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	
	1. 自分の行動を多面的にとらえることができる。 2. グループ活動に参加し、他者と協力することができる。 3. 他者の理解に努め、初めてのことや苦手なことにも前向きに取り組んでいる。
理想的レベル	
	1. 自分の行動を多面的に捉え、継続して見直しを図っている。 2. グループ活動に参加し、他者と協力しながらリーダーシップを発揮することができる。 3. 継続して、他者の理解に努め、初めてのことや苦手なことにも前向きに取り組んでいる。

## 評価方法・評価割合

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	40%	小レポート、最終レポート
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	60%	授業中の発言や行動

## カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	WE11101J
学習課題（予習・復習）								1回の目安時間（時間）	
授業におけるグループワークを振り返り、文章にまとめる。								1	

第1回	テーマ：オリエンテーション 本演習の到達目標、授業内容を説明する。自己紹介を行う。(担当：杉本有紗、通山久仁子、山本佳代子、水貝洵子)
第2回	テーマ1：自分を表現し、人との関係をつくる 他者との出会いを体験する
第3回	テーマ1：自分を表現し、人との関係をつくる 自分について考え、それを他者に伝える
第4回	テーマ1：自分を表現し、人との関係をつくる 他者の考え方や感じ方を理解し、長所を見つける
第5回	テーマ2：グループでの話し合いや共同作業を体験する グループで協力して解決することを体験する
第6回	テーマ2：グループでの話し合いや共同作業を体験する グループの中で意見を出し合うことを体験する
第7回	テーマ2：グループでの話し合いや共同作業を体験する グループで話し合い、役割分担を決め、作業を進める
第8回	テーマ3：コミュニケーションスキルについて考える 情報の伝え手と受け手の相互作用について考える
第9回	テーマ3：コミュニケーションスキルについて考える 言語的コミュニケーション
第10回	テーマ3：コミュニケーションスキルについて考える 非言語的コミュニケーション
第11回	テーマ3：コミュニケーションスキルについて考える アサーティブなコミュニケーション
第12回	テーマ4：協力のためのスキルについて考え、グループ活動に生かす リーダーシップについて考える
第13回	テーマ4：協力のためのスキルについて考え、グループ活動に生かす チームワークについて考える
第14回	テーマ4：協力のためのスキルについて考え、グループ活動に生かす グループで話し合い、問題解決を図る
第15回	テーマ：まとめ 振り返りを行い、本演習での学びについて発表する
テキスト	指定なし。必要に応じてプリントを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	指定なし。
課題に対するフィードバックの方法	小レポートを返却する。
学生へのメッセージ・コメント	福祉、教育、保育の専門科目を学ぶための土台となる科目であるため、積極的な取り組みの姿勢が必要である。 授業で学んだことを日ごろの生活やボランティア活動などで実践することが望ましい。

また、授業中に扱われた概念やキーワードについて文献等で調べ、理論的にも理解できるようになることを期待する。

